

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	地球環境保全試験研究費等		事業開始年度	(※「事業の目的」参照)	作成責任者	
担当部局庁	地球環境局		担当課室	研究調査室	室長 小野 洋	
会計区分	一般会計		上位政策	地球環境の保全、地球環境保全等試験研究		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省設置法第4条第3号		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①地球環境研究計画策定等経費(H2年度～) →地球環境問題を巡る国内外の急速な動きに対応するため、学識者等からなる地球環境研究企画委員会の審議を経て地球環境研究計画等を作成するもの。 ②地球環境保全試験研究費(H13年度～) →地球温暖化問題の解決に資する科学的知見の集積を通じ、行政課題の解決を科学的側面から支援するもの。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①地球環境研究企画委員会の審議を経て、地球環境研究計画を策定するもの。 ②関係行政機関及び関係行政機関の試験研究機関が実施する地球環境の保全に関する試験研究について、効率的かつ総合的な試験研究計画等の推進を図るため、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき、関係予算を一括計上し、予算成立後関係行政機関へ移し替えることにより、試験研究の一元的推進を図るもの。 本事業における研究は、中長期的視点も踏まえ、計画的・着実に進めるべきものであり、観測結果等の成果は、地球温暖化対策をはじめ地球環境政策の立案・実施に科学的基盤を与えるものである。					
実施状況	①地球環境研究企画委員会の審議を経て、研究を取り巻く国際状況を整理し、それを踏まえ地球環境研究計画を作成した。 ②アジアオセアニア域における微量温室効果ガスの多成分分析といった我が国における地球温暖化などの諸問題に対して我が国として科学的な側面から知的貢献を行うべく、政府が計画的に取組を強化すべき重要な研究として、平成21年度は12課題の研究を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	314	305	316	314	
	執行額	312	303	307		
	執行率	99%	99%	97%		
	総事業費(執行ベース)	312	303	307		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	①地球環境研究企画委員会の審議をするために必要な委員等の旅費、謝金及び策定した地球環境研究計画を印刷する費用は、環境省より直接支出している。 ②支出先や用途については、研究開始時に研究経費積算を必要性・効率性の観点から確認し、研究完了時には精算報告書類を提出させ書面調査を行い、支出先・用途の確認を全課題行っている。また、研究課題毎の支出額は、学識者等からなる評価委員会による評価結果を反映している。				
	見直しの余地	研究課題の採択に当たっては、利害関係者を排除した外部評価委員による厳正な評価を実施しており、研究課題毎の支出額についても評価結果に応じて減額等の措置を講ずることとしている。このような厳正な評価を引き続き行う。				
予算チームの監視・効率化						
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

環境省
305百万円

地球環境保全試験研究費

【内容】

地球環境保全に関わる関係行政機関の試験研究期間の経費及び関係行政機関の試験研究委託費のうち、地球温暖化問題の解決を主たる目的とする経費を一括して計上。
応募のあった研究課題の中から、外部専門家からなる地球環境研究企画委員会の評価に基づき、課題の選定及び当該経費の配分の策定が行われる。

※地球環境研究計画策定等経費(2百万円)は、地球環境研究企画委員会の開催等に要した謝金、委員等旅費、庁費。

公募・委託

A. (独)国立環境研究所
197百万円

平成21年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務
【業務内容】

- ①チベット高原を利用した温暖化の早期検出と早期予測に関する研究
- ②民間航空機を活用したアジア太平洋域上空における温室効果気体の観測
- ③アジア陸域炭素循環観測のための長期生態系モニタリングとデータのネットワーク化促進に関する研究
- ④タワー観測ネットワークを利用したシベリアにおけるCO2とCH4収支の推定
- ⑤アジア・オセアニア域における微量温室効果ガスの多成分長期観測
- ⑥海洋表層CO2分圧観測データ利用促進と太平洋域の変動解析
- ⑦東アジアにおけるハロカーボン排出実態解明のための高精度・高精度モニタリング研究
- ⑧二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素および炭素同位体の長期観測研究

予算の移替

厚生労働省 15百万円
農林水産省 44百万円
経済産業省 7百万円
国土交通省 42百万円

【国立研究所実施】

試験研究旅費2百万円、外国旅費1百万円、試験研究費34百万円

【公募・委託】

農林水産省 (独) 農業環境技術研究所5百万円
(独) 森林総合研究所39百万円
経済産業省 (独) 産業技術総合研究所7百万円
国土交通省 (独) 海上技術安全研究所20百万円
北海道大学 0.3百万円

特命随契・外部委託

B. (株)ジャムコ
22.0百万円

②民間航空機を活用した温室効果気体の観測
【業務内容】
航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備

特命随契・外部委託

C. (株)日本航空インターナショナル 9.2百万円

②民間航空機を活用した温室効果気体の観測
【業務内容】
航空機への観測装置搭載搬出作業

一般競争入札・外部委託

D. (財)地球・人間環境フォーラム 13.1百万円

④タワー観測ネットワークを利用したCO2とCH4収支推定
【業務内容】
シベリアにおける二酸化炭素タワー観測システム維持・管理業務

一般競争入札・外部委託

E. (財)地球・人間環境フォーラム 3.0百万円

⑤アジア・オセアニア域多成分長期観測
【業務内容】
アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務等

少額随契・外部委託

F. 紀本電子工業(株)
0.3百万円

⑤アジア・オセアニア域多成分長期観測
【業務内容】
アジア～太平洋航路観測船の機器整備作業

少額随契・外部委託

G. (財)日本水路協会
0.9百万円

⑥海洋表層CO2分圧観測データ利用促進
【業務内容】
太平洋の貨物船による二酸化炭素交換収支観測データ解析及び公開業務

一般競争入札・外部委託

H. (財)地球・人間環境フォーラム 4.2百万円

⑧二酸化炭素の全球収支解明長期観測
【業務内容】
大気観測システム維持業務

共同研究

I. 名古屋大学
1.4百万円

⑧二酸化炭素の全球収支解明長期観測
【業務内容】
太平洋で採取された二酸化炭素の放射性炭素同位体測定

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. (独)国立環境研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	ポスドクフェロー、アシスタントフェロー、高度技能専門員	46.2			
旅費	国内旅費、外国旅費、外国人招聘費	4.4			
備品費	データロガー、ブラックカーボン測定器、既存Agilent7890A用質量検出器、マイクロ電子捕獲型検出器、ピラニー計、ロータリーポンプ、冷凍機、メタルベルローズポンプ	14.4			
消耗品費	野外調査用消耗品、観測機器用消耗品、実験用消耗品、資料、薬品類、配管類、ガス類、ポンペ用減圧弁、観測システム保守用部材、データ処理用消耗品、エアポンプ類、レンタカー燃料、連続測定器用消耗品、電子部品類、カラム類、ガラス器具類、金属部品類	26.7			
通信運搬費	貨物保管料、宅急便、宅配便、試料運搬、ポンペ輸送費	2.0			
借料及び損料	実験地における草地使用料、レンタカー代、タワーレンタル料、小型航空機チャーター代	4.1			
賃金	アシスタントスタッフ	14.4			
雑役務費	英文校閲、修繕費、保守料、学会参加費	4.1			
外注費	下記(B)～(H)に係る業務	52.7			
共同委託研究費	下記(I)に係る業務	1.4			
その他	印刷製本費	0.1			
一般管理費		16.9			
消費税		9.4			
計		196.8	計		
B. (株)ジャムコ			F. 紀本電子工業(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備	22.0	雑役務費	航路観測船の機器整備作業	0.3
計		22.0	計		0.3
C. (株)日本航空インターナショナル			G. (財)日本水路協会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	航空機への観測装置搭載搬出作業	9.2	雑役務費	太平洋の貨物船による二酸化炭素交換収支観測データ解析及び公開業務	0.9
計		9.2	計		0.9
D. (財)地球・人間環境フォーラム			H. (財)地球・人間環境フォーラム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	タワー観測システム維持・管理業務	13.1	雑役務費	大気観測システム維持業務	4.2
計		13.1	計		4.2
E. (財)地球・人間環境フォーラム			I. 名古屋大学		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アジア・オセアニア航路での大気観測支援	2.9	旅費	研究調査旅費	0.1
雑役務費	機器設置作業	0.1	消耗品費	測定用消耗品	1.3
計		3.0	計		1.4